

# 平成22年度宇治市入札監視委員会 第1回定例会議議事概要

## I. 会議の概要

1. 開催日時 平成22年5月19日（水）13時28分～16時20分

2. 開催場所 市役所6階602会議室

## 3. 出席者

委員会：松岡委員長、船橋委員、勝丸委員（新任）

宇治市：川端副市長、坪倉総務部長（新任）、小山課長（新任）

関係課：松田子育て支援室室長、森水道部次長、太田都市整備部次長ほか

※会議の前段にて、川端副市長から各委員へ委嘱状の交付が行われ、委員の互選により松岡委員を委員長とすることの決定がなされた。

## 4. 報告案件

(1) 平成21年度の入札等の実施状況について

### ①年間報告

- a. 落札率の推移について（ランダム係数を用いた入札分析等）
- b. 平成21年度資格制限（指名停止）状況について
- c. 平成21年度入札監視委員会審議経過・会議議事概要について

### ②平成21年度・第4四半期報告（今回の審議対象期間）

- a. 業者選定委員会・各部会の開催状況について
- b. 指名停止の状況について
- c. 契約の発注状況について

(2) 平成22年度入札・契約制度改革の概要について

【委員発言】ランダム係数を用いた入札案件において、ランダム係数が大きい数値が抽出された場合、最低制限価格未満のため無効となる業者数が多くなるのはどうかと思う。今後数値を微調整するなどの検討をしてみてもどうか。

## 5. 審議事項

(1) 平成22年1月～3月入札案件にかかる審議案件抽出理由（松岡委員長）

(2) 審議案件

①工事 ー簡易公募型指名競争入札ー

◆ 35499-1 小倉町98号線ほか道路維持修繕工事

②工事 ー簡易公募型指名競争入札ー

◆ 36070-1 都市公園等施設維持改良工事（その11）

③工事 ー簡易公募型指名競争入札ー

- ◆ 38020-1 神明小学校雨水流出抑制施設設置工事
  - ④コンサル ―簡易公募型指名競争入札―
    - ◆ 35275-1 水道設計積算システム単価改定業務委託
  - ⑤物品 ―簡易公募型指名競争入札―
    - ◆ 37582-1 及び 37582-2 宇治市立小中学校デジタルテレビ・DVD レコーダー一式（東宇治・北宇治地区）
    - ◆ 37583-1 及び 37583-2 宇治市立小中学校デジタルテレビ・DVD レコーダー一式（中宇治・西宇治地区）
    - ◆ 37575-1 及び 37575-2 育成学級及び子育て支援センター加湿空気清浄機 3 5 台ほか（合冊 4 件）
  - ⑥役務 ―簡易公募型指名競争入札―
    - ◆ 37587-1 水道漏水等にかかる受付業務ほか（合冊 3 件）
- (3) 説明案件
- ①役務 ―特命随意契約―
    - ◆ 37898-1 中央監視システム機器更新業務委託

## II. 会議の結果

### 1. 経過

審議対象案件については、平成 22 年 1 月 1 日から 3 月 31 日までに入札した工事 48 件、コンサルタント 14 件、物品 55 件、役務 41 件の中から、今回の 6 件を抽出委員が抽出した。案件（①～⑥）ごとに事務局より概要、入札・契約方法、業者選定基準及び契約締結までの事務手続き、発注担当課より案件の概要について説明し、各委員からの質疑に対して発注担当課も含めて応答した。また、説明案件（①）において、特命随意契約対象案件の予定価格の決定方法等を事務局より説明した。

### 2. 結果〈まとめ〉

工事案件（①～③）については、変動制とランダム係数による最低制限価格の違いが落札率等に顕著に現れている。今後の運用の参考にしてもらいたい。④から⑥の案件については、説明も充分であり入札そのものに問題はみられない。検討課題はあるが、全件入札自体に問題は無い。

### 3. 主な質疑応答〈まとめ〉

審議案件①について

- 【 問 】 非常に低い落札率だが、注文通りの施工はできるのか。
- 【 答 】 工事の難易度もわりと低く、工事内容も標準的なものである。また、予定価格には難易度が反映されない場合もある。よって、業者が見積額を圧縮することは可能である。施工に問題は無い。
- 【 問 】 予定価格の「材」と「工」の比率はどのくらいか。
- 【 答 】 現在「材」と「工」とに区分した積算方式を採用していないので、

今すぐにはわからない。

【委員発言】 次回の委員会時には、その資料を準備して欲しい。また、この案件は、変動制最低制限価格制度の限界を示す特徴的な案件と思われる。

審議案件②について

【問】 全業者が狭い価格帯での応札になっているが、見積額に差が生じにくい工事なのか。

【答】 対象業者も10者であり、また工事内容としては2次製品を多く含む造園工事定型の内容である。

【委員発言】 ランダム係数を採用する案件であり、またそういった工事内容や限られた業者数であれば、この応札結果も当然と思われる。

審議案件③について

【問】 全国的にこういった工事はあるのか。

【答】 関東、名古屋、大阪などで既に行われている。

【委員発言】 ランダム係数が高く、ほとんどの業者が最低制限価格未満で無効となっている。この入札結果から、今後のランダム係数を検討する必要があると思われる。

審議案件④について

【問】 指名業者数が7者だが、対象業者は何者いるのか。

【答】 対象はもう少し多いが、昨年と一昨年11者参加し、ともに90%台での落札となっている。

【委員発言】 業務内容や履行期間の短さ等からも、利の大きな仕事とは思えない。問題は無いと思われる。

審議案件⑤について

【問】 入札結果で記名押印無しによる無効という表記があるが。

【答】 記名押印無しについては、その業者の単純ミスと思われる。

【委員発言】 デジタルテレビ・DVDレコーダー一式の件について、2度にわたる入札の経過についてはよく理解できた。しかし、応札額についての合理的な説明は何も思い浮かばない。

審議案件⑥について

【問】 共同企業体について、5者のJVとあるが、契約期間中に1者が倒産した場合はどうなるのか。また、JVの対象業者はどういった関係の業者か。

【答】 共同企業体協定書の記載事項の中にあるように、JVを組んだ残りの業者（本件については4者）で業務を遂行することになる。また、対象業者は、水道関係の業者である。

【委員発言】 前回（3年前）の時は2者のJVの応札があり、今回は2者のJVが参加し、そのうち1者辞退とある。前回の2者JVでも競争環境が整っているとはとても言い難い。

# 平成22年度宇治市入札監視委員会 第2回定例会議議事概要

## I. 会議の概要

1. 開催日時 平成22年9月22日(水) 13時30分～16時45分
2. 開催場所 市役所3階 302会議室
3. 出席者  
委員会 松岡委員長、船橋委員、勝丸委員  
宇治市 坪倉総務部長、小山契約課長  
関係課 藤原選挙管理委員会事務局長、中西建設部参事兼施設建築課長、安田建設部参事兼維持課長、貝小中一貫教育課長ほか

## 4. 報告案件

- (1) 平成22年度第一四半期の発注状況等
  - a. 業者選定委員会・各部会の開催状況について
  - b. 指名停止の状況について
  - c. 発注・入札の状況について
  - d. 工事成績優良業者への工事発注について
- (2) 平成22年度第一四半期の発注状況にかかる諸分析
  - a. 平成20～22年度工事発注(件数・予定価格・落札額・落札率)推移
  - b. 平成12～22年度における発注種別ごとの参加業者数分析
  - c. ランダム係数を用いた入札一覧及び分析
- (3) 平成22年度第1回定例会議における課題の報告  
事務局及び「小倉町98号線ほか道路維持修繕工事」「開町8号線ほか道路維持修繕工事」の担当課である維持課より、予定価格における「工」と「材」の比率についての説明を行うとともに、工事成績等についても報告を行った。

## 5. 審議事項

- (1) 平成22年4月～6月入札案件よりの抽出理由(船橋委員)
- (2) 審議案件

### ①-1 工事 (簡易公募型指名競争入札)

小学校全校空調設置機械工事

◆40372-1 槇島小学校 ◆40376-1 御蔵山小学校

◆40992-1 木幡小学校 ◆40374-1 岡屋小学校

### ①-2 工事 (簡易公募型指名競争入札)

小学校全校空調設置電気工事

◆40993-1 木幡小学校 ◆40375-1 岡屋小学校

◆40377-1 御蔵山小学校 ◆40373-1 槇島小学校

- ②工事 (一般競争入札)
  - ◆40415-1 第一小中一貫校整備事業に伴う建築工事
- ③工事 (条件付一般競争入札)
  - 耐震補強工事
    - ◆40355-1 平盛小学校及びデイホーム
    - ◆40412-1 木幡幼稚園
    - ◆40361-1 南部小学校
- ④役務 (簡易公募型指名競争入札)
  - ◆41217-1 大島・針ノ木排水機場操作管理業務委託
- ⑤役務 (簡易公募型指名競争入札)
  - ◆41125-1 参議院議員通常選挙にかかるポスター掲示場設置業務委託
- ⑥役務 (簡易公募型指名競争入札)
  - 都市公園等の樹木選定・薬剤散布業務委託
    - ◆41290-1 北部地区
    - ◆40579-1 南部地区

## II. 会議の結果

### 1. 経過

審議対象案件については、平成22年4月1日から6月30日までに入札した工事48件、コンサルタント29件、物品44件、役務145件の中から、今回の6件を抽出委員が抽出した。審議案件の各案件ごとに事務局より概要、入札・契約方法、業者選定基準及び契約締結までの事務手続き、発注担当課より案件の概要について説明し、各委員からの質疑に対して発注担当課も含めて応答した。

### 2. 結果(まとめ)

審議案件(①～⑤)については、入札そのものに問題はみられない。ただし、審議案件⑥については、入札方式自体に問題があるとは思わないが、南部、北部の落札率についての差が理解できない。よって、今回は判断保留とし、来年度発注される同種の案件を取り上げ、来年度も審議することとする。

### 3. 主な質疑応答(まとめ)

審議案件①-1、-2について

【問】 設計価格の決定の際、物価版に記載の無いものについては、3者見積もりをとっているのか。

【答】 3者見積もりをとっている。見積もりにも金銭的な面や労力的な面で業者に負担がかかるので、全国的に3者の設計会社から見積もりをとっているところが多い。

【委員発言】 電気工事の件は何も気にならない。機械工事の方は、低い額で応札している者がそれぞれの入札で1者しかいないのが気になる。今後、機械工事については今後この数社の比較検討をする必要があるが、全

体的には合理的な結果になっている。

審議案件②について

- 【 問 】 JV 対象の発注だが、その組み合わせの基準はどのようなものか。
- 【 答 】 工事内容、予定価格等からスーパーゼネコン、業者育成という観点から市内業者の組み合わせになった。また、市内業者については、発注基準にある最も高いランクの業者を対象とした。
- 【 問 】 設計は前年度に発注したのか。
- 【 答 】 (株)佐藤総合計画が、複数年度にわたり設計を行った。
- 【委員発言】 地元業者育成という観点では非常に良い組み合わせである。参加 JV 数は若干少ないような気はするが、入札としては良い結果になっている。

審議案件③について

- 【 問 】 工事内容に、防水や内装改修も含まれるのか。
- 【 答 】 以前の耐震補強工事には、トイレ改修等も工事内容に含んでいたが、工期面で非常に無理があるということから最近は含んでいない。
- 【委員発言】 ランダム係数が「1. 0 0 0」を超えた時（無効業者数の多さ）の対処方法を今後整理する必要はあるが、入札自体に問題は無いと思われる。

審議案件④について

- 【 問 】 大島と針ノ木とを併せて発注しているが。
- 【 答 】 双方とも国・府から委託されている業務であり、まとめて発注することにより少しでも安価で落札されることを期待し、併せて発注している。
- 【委員発言】 対象業者の地域もフリーにも関わらず、参加業者が1者である。この状況であれば、この入札結果も仕方無い。競争相手がいないことは別にして、入札に合理性があることはよくわかった。

審議案件⑤について

- 【 問 】 3者の参加だが、対象自体3者なのか。また、予算はどのように決定してるのか。
- 【 答 】 業者登録のデータでは、役務の「看板・広告」分野を最希望・希望している市内業者を12者確認しているが、その内何者が京都府の屋外広告業登録を有しているかまでは把握できていない。また、予算についてはこれまでの実績をもとに決定している。
- 【委員発言】 この予算の決定方法は、物品と似た構造であり、何年に1度かは不調になりそうではあるが、今回の入札自体に問題は無いと思われる。

審議案件⑥について

- 【 問 】 とりぬけ方式を採用しているのか。作業内容は北部、南部同じか。
- 【 答 】 とりぬけ方式である。作業内容は、全く同じである。
- 【 問 】 北部では、最低制限価格より低い額の応札により3者無効が出てい

るが、南部は全者98～99%の応札率となっているが、何か思い当たる節はあるか。

【 答 】 20年度、21年度において、南部より北部の方が500万円位発注量が多かったり、北部の方が山手になることから公園の規模が大きく、作業が少しは容易な気はするが、それ以外は思い当たる節はこれといって無い。また、今年度北部で業務に支障が出ているといったことも特に今のところ無い。

【委員発言】 北部は少なくとも競争しているが、なかなか話を聞くだけではこの北部、南部の応札率の差について解決、理解できない。しかし、入札方式自体に問題があるとは思わないので、今回は判断保留とし、来年度発注される同種の案件を取り上げ、審議を行う。

# 平成22年度宇治市入札監視委員会 第3回定例会議議事概要

## I. 会議の概要

1. 開催日時 平成22年11月16日（火）13時45分～16時10分
2. 開催場所 市役所1階 101会議室
3. 出席者  
委員会 松岡委員長、舩橋委員、勝丸委員  
宇治市 坪倉総務部長、小山契約課長  
関係課 森水道部次長、中西建設部参事兼施設建築課長、高坂配水課長、西岡資産税課長ほか

## 4. 報告案件

- (1) 平成22年度第二四半期の発注状況等
  - a. 業者選定委員会・各部会の開催状況について
  - b. 指名停止の状況について
  - c. 平成22年7月1日～9月30日の間に入札した案件数について
- (2) 京都府土木設計工事積算システムの単価データ更新エラーに伴う対応について
- (3) ランダム係数を用いた最低制限価格算定方式の現状と課題について

## 5. 審議事項

- (1) 平成22年7月～9月入札案件よりの抽出理由（勝丸委員）
- (2) 審議案件

- ①工事（簡易公募型指名競争入札）
  - ◆40300-1 宇治大谷（その1）配水管移設工事
- ②コンサル（簡易公募型指名競争入札）
  - ◆41312-1 琵琶・森本・広岡谷ポンプ棟耐震診断業務委託
- ③工事（条件付一般競争入札）
  - ◆40392-1 木幡小学校校舎増改築建築工事
- ④物品（簡易公募型指名競争入札）
  - ◆41549-1 デジタルカメラ46台
- ⑤役務（簡易公募型指名競争入札）
  - 平成23年度向け不動産鑑定評価（時点修正）  
入札執行順 ◆40428-1 A地区  
◆40429-1 B地区  
◆40430-1 C地区



## II. 会議の結果

### 1. 経過

審議対象案件については、平成22年7月1日から9月30日までに入札した工事49件、コンサルタント31件、物品45件、役務31件の中から、今回の5件を抽出委員が抽出した。審議案件の各案件ごとに事務局より概要、入札・契約方法、業者選定基準及び契約締結までの事務手続き、発注担当課より案件の概要について説明し、各委員からの質疑に対して発注担当課も含めて応答した。

### 2. 結果（まとめ）

審議案件（①～⑤）については、入札そのものに問題はみられない。ただし、審議案件①に関し、ランダム係数が1.010となったことによって、応札者の大半が無効業者となることは、非常に大きな問題である。今後、試行錯誤したうえで、弊害が少ない工夫をしていく必要がある。

### 3. 主な質疑応答（まとめ）

審議案件①について

【 問 】 工事概要に記載している内容に、数量を掛けると簡単に積算できるのか。

【 答 】 建築工事と比較すると、簡単に積算は可能である。入札前に、内訳（金額の記載抜き）を業者に渡していることもあって、積算にそれほど時間はかからないはずである。

【 問 】 ランダム係数は、範囲内でまばらに抽出されているのか。また、最低応札額に対応するランダム係数はいくらになるのか。

【 答 】 多少の偏りや、数回同値のランダム係数が連続することはあるが、全体としてみればまばらに抽出されている。また、最低応札額に対応するランダム係数は、0.925である。

【委員発言】 落札率の底上げという点では一定成果はあり、入札自体に問題は無い。しかし、入札結果にある無効業者数の多さには非常に大きな問題があり、重く受け止めなければならない。この入札結果からは、適正・公正な競争が行われているとは言い難い。

審議案件②について

【 問 】 審査脱落している業者がいるが、その理由は何か。

【 答 】 選定基準にある実績に記載内容に不備があり、審査脱落となっている。

【 問 】 変更契約しているが、その内容と理由はどういうものか。

【 答 】 もともと契約した業務内容では、全施設に耐震補強設計する内容が含まれていたが、その一部を行う必要が無くなったため、減額の変更契約を行った。

【委員発言】 この程度の無効業者数であれば、問題は無いと思われる。変動制最低制限価格制度を採用していた際の、異常に低い額での応札が無くなったという点では、現行のランダム係数を用いた最低制限価格制度の成果はあると言える。他のコンサルタント業務の結果も併せてみると、

落札率はランダム係数よりも参加業者数の多寡に起因しているようにも思える。

審議案件③について

【 問 】 参加業者数が6者と少ないように思うが。また、元請の実績を求めると、参加者が限られるのではないか。

【 答 】 最大11者が参加可能と把握している。市内業者育成という観点から、原則通り市内本店業者を対象として発注を行った。

【委員発言】 入札としては、特に問題は無いと思う。参加業者数としては、2桁の参加が望ましいと思う。

審議案件④について

【 問 】 低い落札率となっているが、その理由は何故だと考えるか。

【 答 】 進歩する技術革新により年々市場価格が低下していることや、仕様を満たす同等品申請により担当課が想定している商品以外のものを納入するといったこと等から、この低い額の応札も可能と考える。

【委員発言】 入札自体全く問題は無い。

審議案件⑤について

【 問 】 3件に分割し発注しているが、業務内容は全て同じ内容か。

【 答 】 業務量をほぼ均等に分割して発注しているだけで、内容はどれも同じである。

【 問 】 金額訂正による無効とはどういった内容か。

【 答 】 「宇治市入札心得」に記載のとおり、入札額の訂正は無効となる。

【 問 】 参加対象業者は何者くらい把握しているか。

【 答 】 京都府内に本店、支店、営業所を有する15者くらいの対象者は把握している。

【 問 】 いわゆる取り抜け方式（落札した者は、次の入札の参加資格がなくなるといった方式）を採用しているが、それは何故か。

【 答 】 契約業者間の調整会議があり、複数の観点から業務内容について協議して欲しいため、この方式を採用している。

【委員発言】 参加業者数が少ないうえ、取り抜け方式を採用しているため、競争環境の面では少し不満はあるが、業務内容の特殊性から致し方ない。ただ、今後何らかの工夫が必要である。

# 平成22年度宇治市入札監視委員会 第4回定例会議議事概要

## I. 会議の概要

1. 開催日時 平成23年2月18日（金）13時30分～16時20分
2. 開催場所 市役所3階302会議室
3. 出席者  
委員会 松岡委員長、船橋委員、勝丸委員  
宇治市 坪倉総務部長、小山契約課長  
関係課 中西建設部参事兼施設建築課長、安田建設部参事兼維持課長、伊賀住宅課長、平野道路建設課長、高坂配水課長、西岡資産税課長ほか

## 4. 報告案件

- (1) 平成22年度第3四半期の発注状況等
  - ①業者選定委員会・各部会の開催状況について
  - ②指名停止の状況について
  - ③平成22年10月～12月における発注状況について
- (2) 総合評価競争入札（試行）の工事発注とその結果報告について
- (3) 新年度の入札・契約制度改革の概要について

【委員発言】総合評価競争入札について、評価値の桁が小さすぎて印象が良くないので、改善すべきである。また、コスト、労力と見合うだけの効果があるか今後検討する余地がある。

## 5. 審議事項

- (1) 平成22年10月～12月入札案件からの抽出理由（松岡委員長）
- (2) 審議案件
  - ①工事 ー簡易公募型指名競争入札ー
    - ◆40336-1 宇治市営住宅地上デジタル放送対応工事（A地区）
    - ◆40337-1 宇治市営住宅地上デジタル放送対応工事（B地区）
  - ②工事 ー簡易公募型指名競争入札ー
    - ◆40649-1 宇治五ヶ庄線道路改良工事（その3）
    - ◆40694-1 梅谷大平線道路改良工事
  - ③工事 ー簡易公募型指名競争入札ー
    - ◆42156-1 菟道174号線舗装補修工事  
ー工事成績優良業者条件付き簡易公募型指名競争入札ー
    - ◆40746-1 琵琶台12号線ほか舗装補修工事

④コンサル ー簡易公募型指名競争入札ー

- ◆40292-1 下水道関連面整備(その1)配水管移設工事設計業務委託
- ◆40294-1 下水道関連面整備(その2)配水管移設工事設計業務委託
- ◆40295-1 下水道関連面整備(その3)配水管移設工事設計業務委託

⑤役務 ー簡易公募型指名競争入札ー

不動産鑑定評価業務委託

- ◆40431-1 平成24年度評価替用(Aブロック)
- ◆40432-1 平成24年度評価替用(Bブロック)
- ◆40433-1 平成24年度評価替用(Cブロック)

6. 事務局対応案件

①【工事・一般競争入札(条件付)】

- ◆40775-1 榎島町目川地区(その1)排水路改良工事

②【物品・簡易公募型指名競争入札】

- ◆41999-1 デジタル印刷機賃借(保育所)

③【役務・公募型プロポーザル】

- ◆41721-1 宇治市徴収金にかかるコンビニ収納業務委託に関する  
事前準備作業業務委託

◎各案件の質疑について、事務局より概要説明、応答を行った。その結果、適切に処理されていることが確認された。

II. 会議の結果

1. 経過

審議対象案件については、平成22年10月1日から12月31日までに入札した工事54件、コンサルタント18件、物品32件、役務17件の中から、今回の5件を抽出委員が抽出した。審議案件の各案件ごとに事務局より概要、入札・契約方法、業者選定基準及び契約締結までの事務手続き、発注担当課より案件の概要について説明し、各委員からの質疑に対して発注担当課も含めて応答した。

2. 結果(まとめ)

審議案件①～④について、現状ランダム係数による入札方式では、非常に大きな問題が顕著に現れている。一方、審議案件⑤については、ランダム係数による入札方式での大きな弊害はない。今後としては、ランダム係数による入札方式を改良するのか、違った手法を採用するのか、どちらも選択肢としては考えられる。いずれにしても慎重に対応して欲しい。

3. 主な質疑応答(まとめ)

審議案件①について

【委員発言】B地区の案件については、結果として問題はない。しかし、A地区については、非常に大きな問題がある。予定価格通りで応札し、唯一ランダム係数による最低制限価格以上となった業者が落札している。工事内容にほ

ば差がない2件の入札結果を比較することで、ランダム係数の入札方式においては、真面目に積算する必要性が薄れる構造的なマイナス面が良くわかる。

#### 審議案件②について

- 【 問 】 比較すると、「梅谷大平線道路改良工事」の応札率の方が、高いように見えるが、コスト面で何か差はあるのか。
- 【 答 】 「梅谷大平線道路改良工事」で使用した工法は、山間地での工事ではあるが、宇治市ではあまり使用したことのない珍しい工法である。一方、「宇治五ヶ庄線道路改良工事（その3）」は、工法的には一般的な擁壁工事であるが、市街地での工事となり安全対策の面で困難な面もある。結果、両者の間で、大きな差がコスト面であるようには思わない。
- 【委員発言】 ある業者は、2件とも同じ応札率で入札していることから、同じランダム係数が抽出されることを想定して応札している可能性がある。積算して応札しているようには見えない。ランダム係数による入札方式の弊害が大きいように思う。

#### 審議案件③について

- 【委員発言】 2件の工事内容はともかく、「菟道174号線舗装補修工事」ではランダム係数が非常に高いことから、1者のみが有効、他者は最低制限価格未満で全て無効となっている。この結果では、競争のうえ業者決定しているとはとても言い難く、非常に問題がある。

#### 審議案件④について

- 【 問 】 コンサルタントは、建設工事と違い積算内訳で人件費が主となるので、応札率が低くなるのか。
- 【 答 】 建設工事と比べ積算における人件費の比重は高い。この件については市外業者が対象であり、参加業者が多い。この過当競争が、応札率の低さの要因となっている可能性はある。
- 【 問 】 過当競争を防ぐ手法はないのか。
- 【 答 】 入札の参加条件に、同等の業務実績等を求めることにより、参加業者を絞ることは可能である。
- 【委員発言】 この3件は、業務内容、予定価格がほぼ同一である。入札結果を見る限り、結果がランダム係数の違いだけに起因しているかのように思える。また、2件は同一日に入札を行っているが、その2件については同じ応札率の業者も見受けられる。問題があることは、十分に認識できた。

#### 審議案件⑤について

- 【 問 】 取り抜け方式を採用しているのは、同じ業者が複数本の業務量をこなすのが容易でないからか。
- 【 答 】 その通りである。
- 【委員発言】 入札結果が、ランダム係数の違いに起因していない案件と思われる。落札率は一定し、低額での応札をしている業者もない。この結果からは、ランダム方式の弊害はあまり見られない。こういった結果の案件では、ランダム方式存続の可能性も考え得る。